

はな*さき*小町

enjoy myself, enjoy my style.

「ちょいダサ」がトレンド？イマドキ男性ファッションに注目！

スーツに白ソックスを履いている男性に対し「だっさーいー」と思ったことはありませんか？そんな男性

ファッションの「常識」が崩れつつあります。実はそれ、「オシヤレ」で狙っているのかも…これまで「それはナシでしょう？」と言われてきた白ソックスやツータック入りのパンツなど、「ださい」象徴だったアイテムをあえて取り入れる男性が増えています。イマドキな男性ファッションは「ちょいダサ」がトレンドなのです！

◆スーツに白ソックスがオシヤレ？

白ソックスは小学生が履くイメーシが強く、特に革靴とはまったく合わないと思われ、スーツなどのキッチリしたスタイルに合わせるには御法度でした。靴下はパンツか靴の同系色を含ませるのが無難なコーディネートでしたが、最近ではあえて白ソックスを履くことで「きっちりしたコーディネーターにあえて『抜け』を作ること」を意識する男性が増加。靴下専門店

でも、白い靴下の売り上げは前年同期と比べて3割増えたそうです。

◆ツータックは体型カバーではない

腰周りにタックを入れてゆとりを持たせたツータックパンツは、「太ったおじさん」が体型カバーに着るイメージです。しかし、このおじさん服の代名詞だったツータックパンツを愛用する若い男性が増えています。もちろんオシヤレな彼らは体型カバーが目的ではなく、少しゆとりだったシルエットで程よいシフト口感とかわいらしさを演出するのが目的。また、Gジャンやデニム素材のシャツに、シー

ンスを合わせる「デニム オン デニム」スタイルも、一歩間違うと日曜大工好きのおじさんスタイルになってしまうのですが、あえて同素材で統一することで「ちょいダサいくらいでほのぼの感を演出できる」と若い人々の間で広がっているのだそうです。

◆世界的に「ちょいダサ」の傾向

アメリカでも「アーマル」と「ハードコア」を合わせた造語の「アームコア」と呼ばれる、「見ダサイように感じられる」「筋金入りの普通」ファッションが話題のこと。きっちり決めて頑張るほうが「ダサイ」という感覚になり、少し外すことでチャーム的な雰囲気を作るファッションの傾向が世界的にもやって来ているようです。「ダサイおじさん」風のファッションを街で見かけたら、「もしかしたらあえて狙っているのかも？」と注目してみてください！



あえて狙ってます



6月の見直し〈気になるニオイを再確認〉



「ニオイを抑え、香水のマナーを知っておきましょう」

汗をかく季節になってくると、気になるのが体のニオイ。制汗剤を使ったり、香水を使ったりして、ニオイを抑えよう、他人に気づかれないようにしようとケアに気を使いますよね。ただし、自分にとって心地のよい香りが、周囲には逆に不快に感じられることがあるかもしれません。さらに暑くなるこれからの季節、ニオイや香りのケアについて再確認しておきましょう。

実は汗自体は無臭。皮膚や衣類の細菌で分解され、不快なニオイを放つようになります。体のニオイは自分が気にするほど他人は不快に感じていないことも多いと言われますが、自分から漂うニオイはどうしても気になるもの。細菌で分解されてニオイを発生する前に汗はこまめに拭き取り、なるべく乾燥させた状態を保ちましょう。また、脇の下などの気になる部分は、やはり制汗剤を使った方が安心。消臭機能付きの肌着を活用したり、防臭抗菌効果が続く洗剤で洗った衣類を着るのも効果があります。

一方、自分好みの香りをまといたい時につけるのが香水。香料の割合が高い順に「パルファン」→「オードパルファン」→「オードトワレ」→「オーデコロン」の4種類に分かれ、香料の割合が高いほど香りが強く、持続時間も長くなります。目安としては、オードパルファンは約5時間、オードトワレならば3～4時間で香りが消えます。日本人は強い香りが得意ではない人が多いので、まずは香料の少ないものから試していくと良いでしょう。

香りをつけるときは、手首や耳たぶの後ろにつけると、香りが拡散しやすく周囲の人にきつく感じられます。ひじの内側、太ももの内側、膝の裏側、足首など控えめな場所につけると、ほのかな香りに。また、シャワー後の朝など、清潔な肌に直接つけるようにします。それでも、寿司屋や葬儀、お見舞いの場では香水をつけるのは控えましょう。もちろん、ビジネスの場でもごく控えめにします。

スマートな香りの楽しみ方としては、タオルや下着に香りをつけること。好きな香りの石鹸をタンスに入れておくと香り移ります。また、食べ物や雑多なものを入れるバッグは、ニオイが気になる場合もあるので注意しましょう。バッグに香り袋を入れておくのもオススメです。



小町さんの「見直し」塾

change myself, change my life.



はなさき お悩み相談室



足がむくんで困っています。

立ちっぱなしや座りっぱなしで過ごす、夕方には足がパンパンにもくむことがあります。これは、リンパの流れが滞っているのが原因です。リンパとは、全身に張り巡らされたリンパ管を流れる黄色っぽい透明な体液。血液は心臓を起点に、心臓のポンプ作用によって押し出され、全身を流れて再び心臓に戻る循環作用を繰り返しています。リンパは末梢から鎖骨リンパ節に向かって流れる一方通行です。しかも心臓のように強力なポンプを持たないので、筋肉の刺激などに促されながらゆっくりと流れます。重力に逆らっ

て下から上に流れる足先のリンパは、ゴールにたどり着くまで8〜12時間かかるとされ、立ちっぱなしだとさらに時間がかかるようになり、リンパが足にたまった状態をむくんでいると感じるのです。

解消するには、夜のバスタイムなどでリンパの流れを促すマッサージが効果的。ポイントは、足先から上に向かってマッサージすること、アキレス腱の上部からふくらはぎ、膝下に向かって手をグーにしてさすったり、親指で刺激を与えたりして、リンパの流れをスムーズにしましょう。

みんな集まれ〜!

大人女子部



「御社」と「貴社」の違いは?

ビジネス上のやり取りで、相手の会社に対して使う言葉が「御社」と「貴社」。この2つの違い、わかりますか?違いはとても単純で、一般的には「御社」が話し言葉、「貴社」が書き言葉であることです。日本語は同音異義語が多いので、「貴社」と話すと「記者」「婦社」「汽車」と混同しやすいため、話し言葉では「御社」と言うようになったそうです。

ビジネス文書やメールでも「御社」を使いがちですが、書き言葉ですから「貴社」と書くのが通例。学生が就職活動でエントリーシートや履歴書を書くときなど、「御社」を使っている例が多く見受けられるそうです。つい大人でも間違えがちなので、気をつけるようにしましょう。そして、面接や面談のときは「御

社」と言います。また、一般企業は「御社」「貴社」ですが、銀行ならば「御行」「貴行」、学校ならば「御校」「貴校」というように、語尾を変えることも必要です。

一方、「自社」をへりくだっているのが「弊社」です。このへりくだる謙譲のニュアンスは必要がない場合も多々あると思いますが、その場合には「当社」と言ったり書いたりします。相手や状況によって使い分けましょう。

